



特定非営利活動法人  
市民社会研究所  
(愛称 S S K)

～20年のあゆみ～



イラスト 小西与萌希

取り残さないだれ一人  
作詞 松井真理子  
作曲 井上善日居  
歌 鈴木恵 金憲裕

一 小さなまちの食堂に

子どもも大人もやってくる  
シェアは近所の腕自慢

野菜はわが家の畑から  
そんなすてきなまちが好き

あなたの笑顔が私の力  
取り残さないだれ一人

二 学校行けない時もある

仕事できない時もある  
前が見えない時もある

だけど支える人がいる  
そんなやさしいまちが好き

あなたの笑顔が私の力  
取り残さないだれ一人

三 おいしいコーヒー香る店

この豆どこから来たのかな  
遠いお国で汗流し

ひとつひとつと摘んでいる  
同じ地球に生きている

あなたの笑顔が私の力  
取り残さないだれ一人

四 「泣いている人 悩む人

いない世界をつくりたい」  
「だれができるの？」

「そんなこと」  
「ひとりひとりの私たち！」

手と手つないで強くなる  
あなたの笑顔が私の力

取り残さないだれ一人

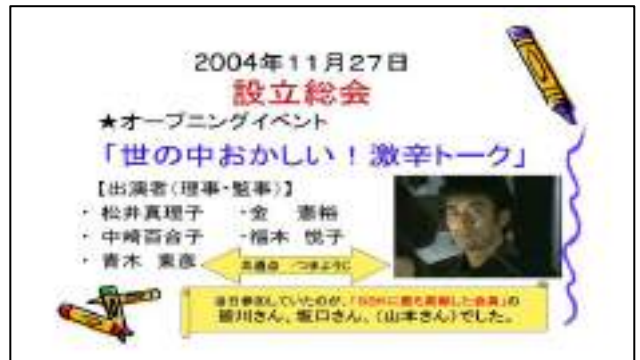
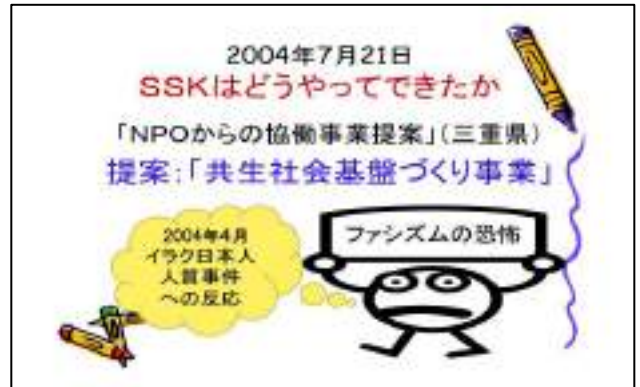


# SSKの設立

2004年、SSKは設立されました。  
イラク日本人質事件における「自己責任論」と  
誹謗中傷に、「市民社会の影」を見たのが動機です。

\*2025年春の現在、「市民社会の影」は、  
SNSによって、ますます濃くなっています。

「市民社会の影」を弱め  
現代社会の諸問題を解決するために  
市民が手をつなぎ  
「市民社会の光」を輝かせようと立ち上がりました。



## 設立総会に関する新聞記事



中日新聞。他にも朝日、毎日、  
産経、伊勢の各紙で掲載され  
ました。記事の書きぶりが、当時  
の県の施策に寄せられているのが  
わかります。

### NPO 法人市民社会研究所設立趣旨書

2004 年11月27日

「21 世紀は市民の時代」というスローガンが示すとおり、近年のボランティアや NPO の急激な増加は、自発的な市民が担う新たな時代の可能性を感じさせてくれます。しかし、今後あるべき 市民社会を展望するとき、その姿は決して明確にはなっていないといえます。

今日の市民社会をみると、そこには「光」と「影」の両面があります。

「市民社会の光」とは、ボランティアや NPO の増加など、私利私欲とは異なる社会貢献の世 界に身を投じる自発的な市民が増加していることや、地方分権の流れの中で、住民自治の重要性が かつてなく認識されるようになってきていることなどがあげられます。しかし、NPO が政府や企 業と並んで社会を担う「第三のセクター」と言えるだけの力量を今後持ちえるのかどうか、異体的 な展望をもちえている人は少ないと思われる。

「市民社会の影」とは、世間一般とは違う考え方や行動を受け入れようとしていない社会、言いたい ことがあっても自分や家族を傷つけないために黙っておくという社会基盤のことです。住民自治、共生社会、男女共同参画、人権教育など、行政はさまざまな施策や制度を打ち出してきました。しかしそれらの基盤となる社会基盤の弱体化が放置されている、それらの施策は場合によってはマイ ナスの効果さえもたらす恐れがあります。

「市民社会の光と影」は、相互に密接な関係があります。「光」をより輝かせていくことで、「影」を小さくしていくことが可能です。また、「光」を輝かせるためには、その影、手が遮るし、「光」を妨げているさまざまな問題点について、市民社会内部や政府セクターに対して積極的に問題提起をし、大きな動きを起こしていく必要があります。

市民社会研究所は、このような考えのもとに、市民自らが手を携えて、市民社会のさまざまな課題に取り組んでいくことを目指します。市民社会研究所は、みんなが知恵を出し合い、互いに話し合い、謙虚に研究し、その成果を行動に結び付けていく場として、すばらしい市民社会づくりに取り組んでいきます。

### 定款第3条 (目的)

この法人は、ひろく市民及び市民社会と関係をもつ者に対して、市民自らが主体となる市民社会の発展に関する調査研究や学習・討論の場の提供及びあらゆる人が包摂される社会づくりを目指す事業を行うとともに、市民社会の多様な主体の連携を図ることによって、市民社会の健全な発展に寄与することを目的とする。



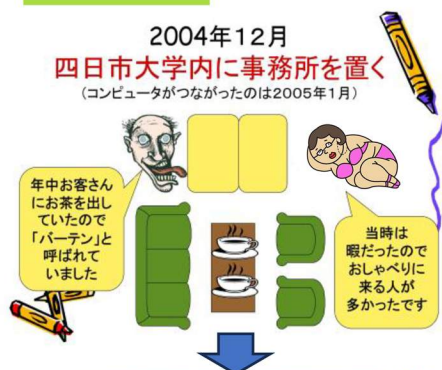
# 20年間の変化

## スタッフ

伊賀県民局で偶然出会った2人からスタートしました。

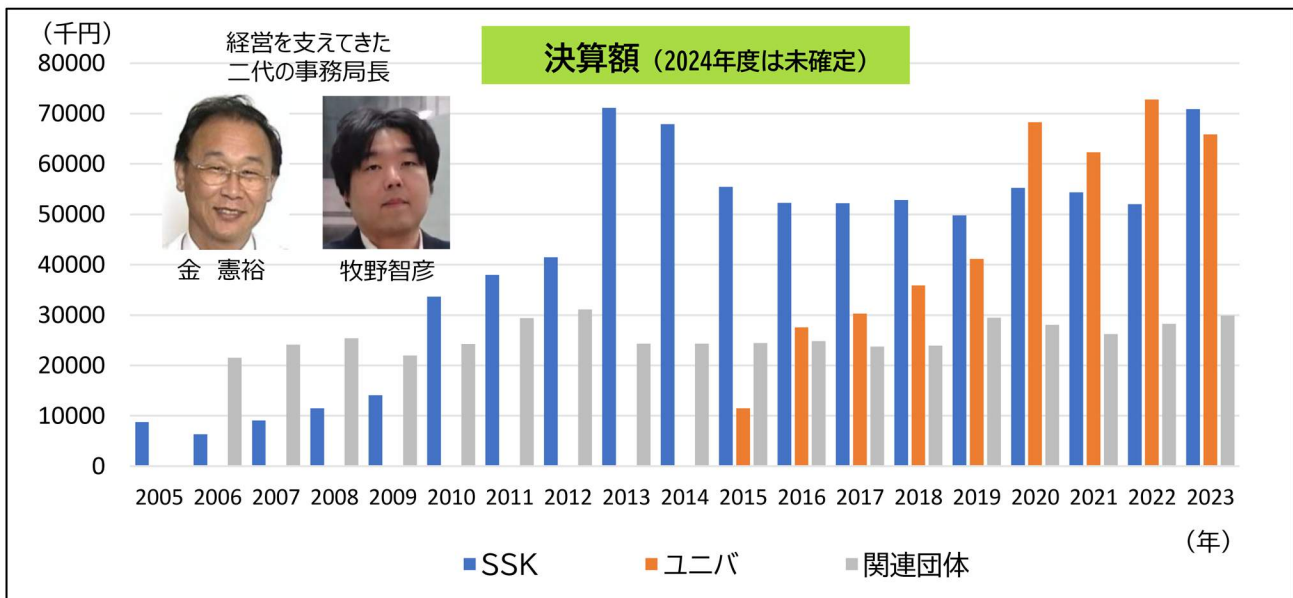
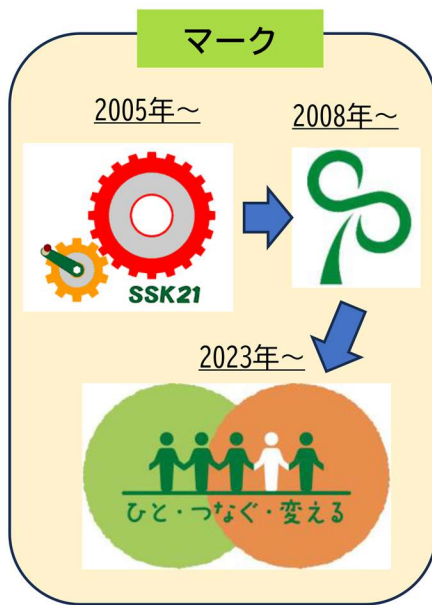


## 事務所



2013年 諏訪栄町に新事務所  
(地上3階、地下1階)  
2015年 ユニバを3階に開設  
2024年 四日市大学事務所を閉鎖

## マーク



# SSKの事業の20年のあゆみ

	年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
全体 p.2・3・16		11月 設立総会 12月 四日市大 学に開所	4月 NPO法人 格取得 SSKのロゴ (初代)決定			SSKのロゴ (2代目)決 定 受託事業 数が大幅に 増加		貨物鉄道 博物館活 性化事業 受託	ほくサボの 事務所借 上げ (諏訪町)		4月 星座ビル (諏訪栄 町3-4) 購入・改修	
人権 市民教育 p.6・9		7月 三重県協働 事業提案 「共生社会 基盤づくり事 業」提案 1位採択	3月 英国研修 くだまきサロ ン 「新しい時代 の公」県民 円卓会議 市民参加の 職員研修	9月 韓国研修 市民共育 道場 シニアまちづ くり人材養成	8月 沖縄研修 市民共育 道場 市民のラジオ スタート	7月 大人の 共育ディバ ート大会 四日市市 制111周年 記念ラジオ 劇上演 日英NPO 交流	8月 富士山・デ ィバート研 修 四日市 市民人権 意識調査 新聞で学 ぶ会開始	北勢地域 広域児童 生徒人権 意識調査	人権のまち づくりファ シリテー ター養成 事業	日本語事 業終了		
地域の つながり p.8												
就労支援 (若年無業者) p.10・11								若年無業 者実態調 査 北勢地域 若者自立 支援ネット ワーク	6月 北勢地域 若者サポ ートステ ーション 開設		8月 ほくサボ が星座ビ ルに移転 (広さ2倍)	大型商店 街丸ごと インタ ーンシ ップ事 業(全 国のモ デル) 北星高 校支援
就労支援 (生活困窮者)												生活困窮 者就労 訓練先 開拓事 業受託
就労支援 (障害者) p.14												県内外の 就労移 行支援 事業所 を視察
社会的 企業 p.12・13						8月 信州・ビ ジネスに よるまち づくり研 修(おや き)	1月 英国の 社会的企 業調査	コミュニ ティビ ジネス 支援人 材雇用 事業 韓国(8 月)英 国(11 月)社 会的企 業調査	→	6月 韓国の 社会的 企業調 査	起業支 援型地 域雇用 創造事 業(お やきの 開発)	5月 伊勢お やき本 舗開設 商品開 発(県 産業支 援セン ター助 成)
調査研究 ・刊行物 p.15			市民が主 体とな った人 権啓発 のあり 方研究 (三重 県)	市民が つくる 市民社 会川柳	人権の まちづ くりの すすめ 3月・1 1月英 国の NPOの 資金政 策調査 市民の パブリ ックコ メント 研究	DVD教 材「ま ちづく りの達 人」 3月 英 国の NPOの 資金政 策調査	人権教 育・啓 発推進 プログ ラム開 発	自治体 とNPO の関 係に関 する日 英比較 調査 (JIAM)		6月 韓国の 寄付文 化調査 三重県 内NPO 法人の 状況 「新しい 公共」 のヒント 集	高齢者 の人権 「入門 編」「 中・上 級編」	
中間支援 (別団体) p.7			四日市 NPOセ クター 会議設 立に向 けた調 査	四日市 NPOセ クター 会議設 立 市民協 働研究 会 なや プラザ 指定管 理(第 1期)	人財ポ ケット スタート		なや プラザ 指定管 理(第 2期)	四日市 NPO百 貨店開 設(web)	10月 みえ NPOネ ットワ ークセ ンター 設立 新しい 公共資 源循環 基盤づ くり事 業	アスト 指定管 理開始 (第1期) 12月 ささえ あいの まち創 造基金 金設立		2月 ささえ あいの まち創 造基金 が公益 認定 なや プラザ 指定管 理(第 3期)

# SSKの事業の20年のあゆみ

2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025 ～		
				SSK設立 15周年事業をコロナのために中止			SSKのロゴ (3代目)決定	SSK・ユニバ 合同研修開始  9月 韓国研修	「SSKちゃんねる」「ほくサポちゃんねる」開始 9月 静岡研修	4月 20周年記念の集い  HPリニューアル（予定）		
「新聞で学ぶ会」を「現代社会研究会」に改称			これからの 部落問題を考える 研究受託（四日市市）	四日市市民 人権意識調査受託	四日市市制 123周年記念「市民協働交流会」で「とり残さないだれ一人」を発表		スプラウト 文化教室 スタート	四日市市 職員人権 研修（人権の基本3回）	四日市市 市民人権意識調査受託  四日市市 職員人権 研修（人権の基本・性の多様性）	1月 ニュースカフェ スタート  三重県人権 学習支援 事業終了  メディアリテラシー調査・啓発		
					12月 生活困窮者 サロン開始（休眠預金助成）	生活困窮者 実態調査  12月 社会的孤立 フォーラム	つながりの仕事おこし事業（休眠預金助成）	地域ぐるみのつながり事業（WAM助成）	3月 「つながり」シンポジウム  地域のつながり強化事業（四日市市）	3月 居場所 交流会		
	厚労省のサポステ基準の「S（最高）」に位置づけ  向かいのビルにサポステテライト開設	サポステに入札制度導入（不当競争で落選の危機）  スプラウトで「働くを学ぶ会」を実施			就職決定者数が全国177サポステのうち6位になる	全国サポステ優秀事例に選定される	40代無業者の支援が全国サポステ好事例集に掲載される	高校訪問事業（県教委）実施				
伊勢おやき本舗「生活困窮者就労訓練事業所」に認定（県第1号）	就労困難者の就労訓練受け入れ事業所拡大事業（WAM助成）			「生活困窮者就労準備支援事業」を受託（四日市市）								
9月 ユニバーサル就労センター設立		9月 B型開始	4月 計画相談開始	10月 生活訓練定着支援開始			就労移行支援事業所ネットワーク結成		ユニバ新事務所開設  ユニバ保護者会設置	就労準備型放課後等デイサービス準備		
障がい者委託訓練受入企業の開拓業務受託（三重県）												
	キッチンカー「うずめ号」購入	9月 トレーニングカフェ・スプラウトオープン  「四日市ビスケット」を産業支援センターに助成申請	四日市彩サプレ開発  大内山ソフト製造機のクラファン  カラオケ導入	四日市彩サプレ発売  ピロシキ発売  スプラウトで日替わりランチ開始	コロナ等のためキッチンカー「うずめ号」廃車  ユニバの弁当製造開始	「みんなの和プリン」開発（四日市大学・吉本興業と連携）	5月 「みんなの和プリン」発売	オレンジ和プリン発売		さえとしおりのキーマカレー発売予定		
	市民のためのパブリックコメント制度（四日市大学）  就労困難な人の就労訓練受け入れガイドブック（WAM助成）	就労困難な人の就労訓練受け入れガイドブック（WAM助成）		就労困難な若者のトレーニングカフェ・SPROUTの実践（WAM助成）	CD「とり残さないだれ一人」発売	性の多様性は、今（SSK調査研究シリーズ）  生活困窮・社会的孤立への政策提言  CD「市民のくだまき音頭」発売		地域のキーパーソンによる「つながりの仕事おこし」事業報告書（SSK調査研究シリーズ）（WAM助成）	四日市市内戦争と死者に関わる碑及び施設（中島）事業報告書（SSK調査研究シリーズ）	四日市市民人権意識調査結果概要版  CD「想いの旅路」制作（予定）		
	5月 市民の伊勢志摩サミット  10月 東海市民社会ネットワーク設立	アスト指定管理（第2期）		なやプラザ指定管理（第4期）			アスト指定管理（第3期）  県民応援NPOプロジェクトスタート	四日市NPO協会再結成  NPOの資金のあり方調査	なやプラザ指定管理終了  ソーシャルビジネス実態調査	四日市NPOプレゼン大会		



# 力強い市民社会づくり（人権・市民教育）

力強い市民社会のためには、一人ひとりが多様性を尊重し、人間の尊厳を理解することが不可欠です。このため、設立以来、SSKの一丁目一番地の事業として、人権研修や市民教育に取り組んできました。

## 人権（研修・調査・教材作成）

20年間、県内各地のさまざまな人権学習の場に呼ばれ、約500か所、約1万5千人に対して研修を行いました。



地域の人権学習支援



人権センターのイベント参加



## 共育ディベート

ディベートは、根拠に基づく論理的思考や異なる意見を聴く力を鍛えるため、特に初期は積極的に取り組みました。



四日市大学と連携した大会



中日新聞 2010年3月21日

## 日本語ボランティア養成

多文化共生の担い手育成のため、文化庁事業に6年間取り組みました。



「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

## 市民共育道場

時事的なテーマについて、自分の意見を出し合う機会はなかなかないものです。やり方は折々変えながらも、20年間継続して取り組んできました。



新聞を使って学べる



## 研修旅行

2005年のイギリス旅行から始まり、特に初期は毎年のように会員対象の研修旅行を行いました。近年はスタッフの研修旅行を行っています。（韓国・静岡）



2007年 沖縄・平和の礎



2008年 信州(おやきとの出会い)



2010年 韓国（社会的企業研修）

# 力強い市民社会づくり（ネットワーク型中間支援）

力強い市民社会のためには、社会課題に自発的に取り組む市民活動団体のつながりが極めて重要です。SSKは、「NPOのネットワークによる中間支援組織」をつくるという、ユニークな取組みをしてきました。

団体名	設立年	SSKの役割	活動エリア	活動内容
四日市NPO協会 (四日市NPOセクター会議)	2006	事務局	四日市市	・ NPOプレゼン大会/政策提言 ・ NPOの成長の相互支援
公益財団法人 ささえあいの まち創造基金	2012	事務局	四日市市 三重県	草の根の市民団体に対する 金・もの・人材による支援
NPO法人 みえ NPO ネット ワークセンター	2011	事務局	三重県	県内各地の中間支援組織のつな がりによる市民社会の強化
東海市民社会ネットワーク	2016	会員 (元事務局)	東海3県	・ 地域と世界の課題をつなぐ ・ 政策提言・政策対話



2005年に市内NPOへニーズ調査を行い、2006年3月「四日市NPOセクター会議」創設（48団体参加）。なやプラザの指定管理、市議会議員有志との市民協働研究会、人財ポケットなどに取組みつつ、「四日市NPO協会」と改名。その後、2012年にささえあいのまち創造基金を立ち上げたのを契機に、活動を停止。2024年、NPO9団体が集まり、「NPOプレゼン大会」の実施を目的に「四日市NPO協会」を再結成しました。



市長に対し、市民協働条例案  
を議員と共同提案（2006）



市長へささえあいのまち創造基金  
立ち上げへの協力要請（2012）



NPOまちづくりプレゼン大会  
（2025）



2011年に、三重県各地の民間中間支援団体により結成しました。その後、みえ県民交流センター（みえ市民活動ボランティアセンター）の指定管理を通じた、県内の市民活動の活性化に取り組んでいます。

県内中間支援団体で結成



みえ県民交流センターで活動



東海市民社会ネットワーク

2016年に、G7民間伊勢志摩サミットと並行して実施した「市民の伊勢志摩サミット」を契機に結成。愛知・岐阜・三重のNPOとNGOが参加し、地域と世界をつなぐ活動や政策対話に取り組んでいます。

市民の伊勢志摩サミット



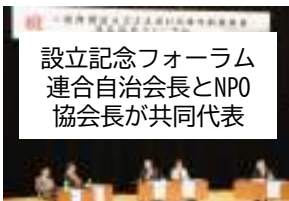
公益財団法人  
ささえあいのまち創造基金  
みんなの少しの善意が集まって大きな立上げを実現

ささえあいのまち創造基金は、三重県の「新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業」の成果として、2012年12月に設立されました。設立時は四日市市自治会連合会と四日市NPO協会の共同代表制をとり、全国的にも注目されました。2013年から毎年1回、市民の寄付金を市民活動団体に配分する事業を行い、これまで約3500万円を約220団体に配分しています。

ささえあいのまち創造基金とは？



設立記念フォーラム  
連合自治会長とNPO  
協会会長が共同代表



ささえあい基金公開配分風景





# 力強い市民社会づくり（地域のつながりづくり）

さまざまな課題を抱えた人が増えている今、だれ一人取り残さない地域づくりがきわめて重要です。このためSSKは2021年度から、市民のつながりの網をつくる事業に着手しました。

## 2021年度 生活困窮・社会的孤立への政策提言事業（（一社）中部圏地域創造ファンドの休眠預金活用事業）

生活困窮者を対象に、①無料の食事提供（週2回）を行いその場での対話（インタビュー） ②四日市市の生活困窮者窓口でのアンケート調査 の2つの調査を行い、生活困窮者の現状把握と政策提言を行いました。

8つの政策提言の第1は、「**四日市ぐるみの居場所ネットワーク**」でした。

なお、この調査で一人暮らしの生活困窮者のうち、近所と全くつきあいのない人は約80%にものぼりました。



生活困窮者への無料の食事提供と対話風景



関係行政各課とNPOとの政策対話と政策提言書

## 2022年度 地域のキーパーソンによる「つながりの仕事おこし」事業（2021年度と同じ）

働くことが難しい人に対して、地域の顔の広いキーパーソンが「仕事おこし人」として、仕事探しに協力する事業。

7人の仕事おこし人が任命され、29件の依頼に対し、23社・15種の仕事を紹介していただきました。



当事者と仕事おこし人との面談



マッチング成功事例の発表

## 2023年度 地域ぐるみの「つながり」づくり事業（WAM助成）

ひきこもり等のさまざまな難しさを抱える人の居場所のあり方を検討しました。「ゲーム」をつながりのツールとして活用するとともに、「つながりのプラットフォームをつくる」ことの重要性がシンポジウムで確認されました。



ゲーム指導者の川北輝さん



メタバースの活用も試行



## 2024年度 地域のつながり強化事業（四日市市委託。重層的支援体制整備事業）

さまざまな課題を抱える人を、地域のつながりによってだれ一人取り残さないという「重層的支援体制整備事業」の一環として、四日市市から受託しました。9つの分野のキーパーソンによって、「**四日市居場所ネットワーク**」とマークができました。



居場所キーパーソン会議



分野を超えた居場所交流会





# 力強い市民社会づくり（その他）

## 市民社会川柳

「笑い」「風刺」は昔から市民の武器でした。この精神で2005～2023年まで、ホームページでほぼ毎日「市民社会川柳」を掲載し、人気を博してきました。しかし、当初から中心的な詠み手だった二人（坂東行和顧問・吉武三和子会員）が死去と高齢により投句できなくなったため、2023年末で終了しました。



年	年間ベスト1(作者)	年	年間ベスト1(作者)
2005	評価する人の評価を誰がする(松井真理子)	2015	使い捨て昔は消費今雇用(坂東行和)
2006	改革で変わる予感がない不幸(吉武三和子)	2016	「主要国」などと他国に失礼な(吉武三和子)
2007	教師にもいじめがあって不登校(坂東行和)	2017	ミサイルはアラーム鳴る頃通り過ぎ(坂東行和)
2008	新人類真珠湾とは伊勢ですか(吉武三和子)	2018	「責任は私にある」が何もせず(松井真理子)
2009	悪政のルーツたどれば有権者(吉武三和子)	2019	化学賞栄誉も国は化石賞(坂東行和)
2010	職歴欄パート・派遣を書ききれず(坂東行和)	2020	1年間「コロナのせいで」と言い続け(松井真理子)
2011	一瞬に町が流れる自然力(吉武三和子)	2021	強いられた自粛を自粛という不思議(坂東行和)
2012	変人を集めて強しNPO(金 憲裕)	2022	「貯蓄から投資」あとは自己責任(松井真理子)
2013	歴史家が判断する頃俺いない(坂東行和)	2023	よく転ぶ元気な子どもとお年寄り(吉武三和子)
2014	積極がついて不安な平和主義(吉武三和子)	2024	停止



原爆の日のため  
折り鶴を市に寄贈  
(ほくサボ)

## 地域貢献活動

食品ロス削減の取組  
(伊勢おやき本舗)  
(スプラウト)



## 地元商店街とのつながり

地元商店街でのさまざまなイベントに積極的に協力しています。



商店街の福引への協力



諏訪交流館イベントの協力



大四日市まつりの協力

## スプラウトを生かした地域貢献

地域の方々の居場所として、カフェをさまざまな形で活用しています。



地域の方の歌声喫茶



各種大学生の研修の受入れ



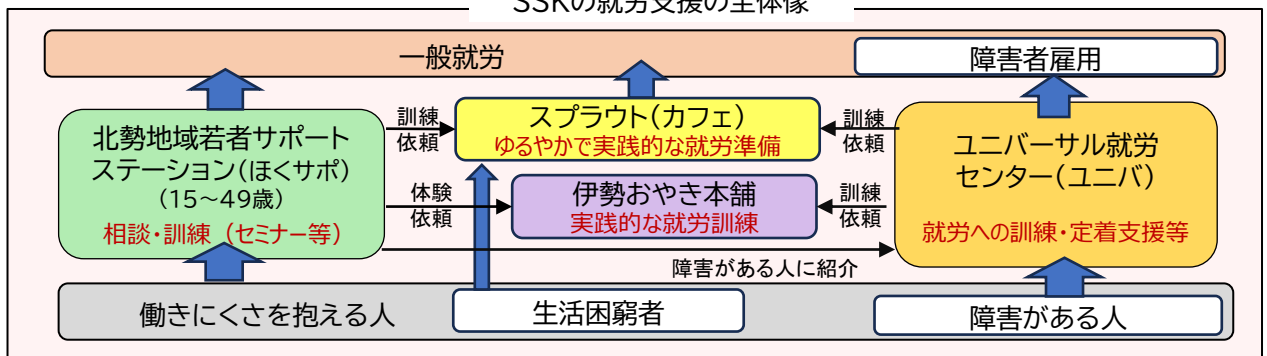
他団体(四傾聴)の会場提供

# 就労支援（全体像）

SSKが就労支援へ踏み出したのは、若者の就労支援を行う団体が北勢地域になく、三重県から要請があったことがきっかけです。「働くことはあらゆる人の基本的人権であり、人間関係、お金、居場所、生きる誇りなど、「完全栄養」（津富宏先生の言葉）と考えられることから、若者の就労支援から取組みを始めました。



SSKの就労支援の全体像



SSKの転機  
(就労支援へ拡大)は  
ほくサポから  
(北勢地域若者サポートステーション)



初めてのサポステの申請作業  
(厚生労働省の委託事業)



スポーツ系の四日市大学生の  
協力を得て引っ越し(2013年)



伊勢新聞 2011年5月27日

近鉄四日市駅の徒歩圏に物件を  
探し、2011年に初代事務所オープン



# 就労支援（北勢地域若者サポートステーション（ほくサポ）：15～49歳）

厚生労働省委託事業の「サポステ」は、働きたいのに働けない若者の相談機関です。（全国177カ所）  
2020年度からは就職氷河期世代の支援も加わり、15～49歳を対象に、相談員が対応しています。



ハーモニカを愛する  
田中所長（二代目）

## 名物所長たち



令和2年度  
就職決定者数  
全国サポステ 177カ所中  
第6位



10年間ほくサポを支え  
続けた森所長（三代目）



元気ハツラツ  
小林所長（六代目）

## 集中訓練プログラム

県内4サポステのうち唯一  
約2か月間の長期プログラムを  
年2回実施しています



さまざまな実践的講座



目玉は就労体験を含む合宿



喜びの修了式



ほくサポのロゴ「タスケ」

## 各種講座

就職に向けた様々な講座を行っています。



## ボランティア（週1回）



しおり作り

古いコイン磨き  
（NPO等へ寄付）



## その他

- ・就職氷河期世代支援
- ・家族のためのセミナー
- ・パートから正社員のステップアップ支援
- ・高校支援（北星高校等）

北勢地域各地へ毎週出張相談



スタッフがコツコツ実績を積み上げてきました



開所（2011年6月）～2025年3月の実績

項目	数値
ほくサポ登録者数	2,255件
進路決定者数	1,564件
その他（進学・訓練）	71件
面談件数	39,530件（年平均2,823件）

# 就労支援・社会的企業（伊勢おやき本舗：ユニバーサルな就労訓練）

ほくサポで就労支援を始めたものの、なかなか就職できない人がたくさんいることがわかり、様々な人が働ける「ユニバーサル就労」の社会的企業をつくろうと考えました。2008年の信州旅行で知った「おやき」は、パンや焼き菓子と違って競争相手が少ないと考え、「三重県唯一のおやき専門店」を立ち上げました。

三重県産業支援センターの助成を受けて、2014年5月オープン



大学内の事務所で、取り寄せた「信州おやき」の試食からスタート



当時空いていた新事務所3階で三重県独自のおやき開発に着手



伊勢おやき本舗設立に向けてご尽力いただいた皆さん

たくさんの働きにくさを抱える人たちが共に働いてきました



御在所SAの名販売人たち



キッチンカーも大活躍しました（現在廃車）



さまざまなイベントで販売してきました



製造部



みんなで目標を書き合い、3か月ごとに目標達成状況を作成します。



伊勢おやき(2014～)

## 商品一覧

みんなの和プリン(2022～)



四日市彩サブレ(2019～)



SSK×吉本興業×四日市大学のコラボで誕生

SSK×四日市大学  
×四日市印刷×  
くりまさんのコラボ。  
好評販売中！





就労支援・社会的企業（トレーニングカフェ・スプラウト:ゆるやかな就労訓練）



就労支援事業に取り組む中で、働きたいのに働けずにいる若者がたくさんいることがわかってきました。それに対して不足しているのは次の3つだと考えました。

- 【不足】①彼らが一步を踏み出すためのゆるやかな訓練の場  
②働きにくさを抱える若者についての社会の理解  
③彼らの特性に合った就労の場



WAM助成（福祉医療機構）を受けて、2017年9月オープン（三重県産木材を使った内装）



2020年度から四日市市の生活困窮者就労準備支援事業を受託し、本格的に就労訓練を始めました。

● 主な訓練内容

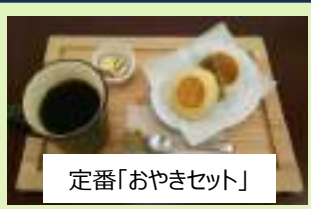
時間	主な訓練内容
午前 9:00～	開店準備（着替え、掃除） 調理・調理補助（日替わり等） 買い出し、食器洗い
ランチ タイム 11:30～	接客（注文取り、配膳・下膳、レジ対応）食器洗い 調理（焼きそばなど）
午後 13:00～	食器洗い、調理・調理 イベント対応（お花見会等） 飲食販売（お入り接客練習）

※上記から訓練時間・内容を精選して実施します



オープンから2025年3月までの訓練生**133人**

	訓練時間	訓練期間
最短	1時間×週2回	0（体験のみ）
最長	7時間×週5回	42か月
平均	3.3時間×週2.2回	4.8か月



当初は在住外国人や高校生にスープを作っていただきました。

「さえとしおりのキーマカレー」間もなく発売！

2025年3月時点のメニュー



# 就労支援（ユニバーサル就労センター（ユニバ）：障害がある人の支援）

ほくサポで就労支援を始めたものの、障害がある人に対しては、専門的な就労支援が必要と考え、主として精神障害がある人を対象とする事業所を立ち上げました(2015年9月)。  
当初はSSKの一部門とする予定でしたが、別団体にするよう三重県から指示があり、NPO法人ユニバーサル就労センターとしました。両団体は方向性を共有し、密接な関係で取組みを進めています。

中 国 新聞 掲載

2015年(平成27年)9月2日(水曜日)



## 精神障害者の就労 手厚く支援へ

四日市市箱田栄町の商店街に1日、障害福祉サービス事業所「ユニバーサル就労センター」が開所した。市内のNPO法人「市民社会研究所」が同じビル内で運営する北勢地域若者サポートステーション(ほくサポ)や就労訓練事業所「伊勢おやき本舗」と連携し、精神障害者らの就労を支援する。(古岡雅章)

### 四日市に「センター」開所 訓練事業所とも連携

市民社会研究所は、〇一一年にほくサポを開所し、十三年度の若者の就労相談に乗っている。昨年五月には対人関係などが理由で働いていない人に就労の機会を提供しようというビル一階に伊勢おやき本舗を開設し、おやきの製造、販売をしてもらっている。さらに精神障害者らの就労も支援しようとして、障害者総合支援法に対応した別のNPO法人を設立し、三階にセンターを開いた。

センターは就労訓練の「共育コース」と、就労機会を提供する「共働コース」を用意。「共育」は一般企業などへの就労が可能と見込まれる人が学遊や訓練を行う。期間は三カ月単位で、最長二年。マナーやパソコン操作、事務作業といった基礎に加え、コミュニケーション、ストレスへの対処法など適応力を高めるためのメニューもある。

「共働」は一般企業などへの就労が困難と考えられる人に、伊勢おやき本舗を中心に就労の機会を提供する。就労支援員や職業指導員、生活支援員ら十人余りのスタッフが支援する。

今月中旬の事業開始を前にこの日、関係者二十人が出席して開所式があり、センター長の金澤裕さんは「働くことは大事な生活目標。利用者が増え、定着できようという目標所づくをしたい」と話した。

両コースとも定員十人、ユニバーサル就労センター〇〇五九(三五一五)二三〇五

ユニバーサル就労センターを運営するセンター長の金澤さん(左端)。四日市市箱田栄町で

### 伊勢おやき本舗(製造)



サブレやおやきといったお菓子を作っているよ

### 虹のふもと (生活訓練)



まずは生活リズムを安定させたい方に！  
私もここからはじめたよ！  
無理でも頑張っているよ

### 就労移行支援 (2017.9～2025.3)

受入れ：25人

### 就労継続支援B型 (2017.9～2025.3)

受入れ：11人

### ユニバーサル就労センター

就労に向けた課題を受けたり、不安なことを相談できます！

### 北勢地域若者サポートステーション



得意のある力、得意の遊び方、自分から相談できます！

### トレーニングカフェ スプラウト



訓練や接客ができるよ！

### 就労定着支援 (2019.10～2025.3)

受入れ：31人

### 計画相談支援 (2018.4～2024.3)

受入れ：147人

### 見学・体験は こちらまで



受入れ人数の増加により  
近隣に新事務所開設 (2024年)



家族の会を好評実施



他団体との連携による活動

就労準備型放課後等デイサービスの立ち上げを検討中



# 調査・研究・刊行物・広報

## 受託調査



四日市市民人権意識調査  
(四日市市 2009・2019・2024年度)



さまざまな分野の人権のテキスト  
(四日市市人権センター)



北勢地域児童生徒人権意識調査  
(北勢地域広域人権教育調査研究協議会 2010年度)



自治体のNPO振興策に  
関する日英比較調査ほか  
(全国市町村国際文化研修所  
2009/2010年度)



三重県NPO法人活動実態調査  
(三重県 2011年度)

## SSK独自調査・研究



2017年



2019年



2023年



2021年

### 市民のための パブリックコメント制度 の研究



研究 2007~2010年  
論文発表 2016年

### SSK調査研究シリーズ



2021年



2024年



立教大学の藤井敦史先生・原田  
晃樹先生と共に、イギリスや韓国の  
社会的企業や市民社会の調査・  
研究を行いました。

## Youtube (2024年1月~)

### SSK ちゃんねる (第1・3水)



### ほくサポ ちゃんねる (第2・4水)



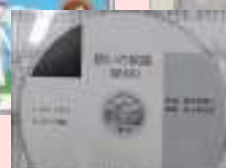
## CD (歌)



2021年



2021年



2025年 (予定)

# 未来に向けて

2025年以降は、これまで20年間取り組んできたことを基盤に、以下の3点を重視して推進します。

- ① 力強い市民社会づくりは、**他団体との連携**によって進める
- ② 働きにくさを抱える人の就労支援は、**地域とともに、より早い段階**から取組む
- ③ **世代交代**を進め、**若い世代の感覚**で取り組む



## 2025年度以降の市民社会研究所（SSK）の事業体系

### A. 力強い市民社会づくり

#### 1 市民共育

##### ① 人権・市民共育

- ・人権等に關する地域の学習会の支援（講師派遣）
- ・各種講座・講演会・学習会の実施
- ・教育ディベート・討論会 など

##### ② 市民の政治・行政への参画・協働

- ・政治受託・政策提言の場づくり
- ・パブリックコメント等への参画 など



#### 2 地域のつながりづくり

##### 四日市農場所ネットワークの構築

市内にあるさまざまな農場所が、分野を超えてつながり、  
だれ一人取り残さない市民社会の基盤をつくる。  
〔2024年度からスタート〕

※四日市市委託「地域のつながり」創出事業（生涯学習振興推進事業／地域・民生対策事業）



#### 3 ネットワーク型中間支援組織を通じたNPO支援 （事務局／メンバーとして活動）

名称	活動エリア	活動内容
四日市NPO協会	四日市市	NPOプレゼン大会・政策提言 NPOの成長の相互支援
公益財団法人ささえあいのまち創造基金	四日市市 三草郡	市の他の市民団体に対する 金・もの・人材による支援
NPO法人みえNPO ネットワークセンター	三重県	県内各地の中間支援組織のつ ながりによる市民社会の造り
東海市民社会ネット ワーク	東海3県 （愛知・岐阜・三重）	NPOとNPOの連携により、地 域と世界の課題をつなぐ 東海3県のつながりづくり

#### 広報

誌面、イラスト等を活用した魅力的な  
広報物作成・随時的な発信

#### 調査研究

課題に基づき調査研究・政策提言  
（SSK調査研究シリーズ）

### B. 働きにくさを抱える人の就労支援

#### 北勢地域若者サポートステーション

働きにくさを抱える若者等（18～49歳）の支援

- ・就労支援・各種講座
- ・ボランティア活動
- ・2か月の集中訓練プログラム
- ・高校との連携

※厚生労働省委託事業



#### トレーニングカフェ・スプラウト

生涯困難者や働きにくさを抱える人

カフェでの仕事を通じたゆるやかな  
就労支援

※四日市市委託「生涯困難者就労支援事業所」



#### 伊勢おやき本舗

障害のある人や働きにくさを  
抱える人

お菓子作りを通じた就労訓練・体験

※ユニバーサル就労センター型（施設外就労）  
※三重県認定「生涯困難者就労支援事業所」



#### ユニバーサル就労センター

障害（精神・身体的・身体的）がある人

- ① 就労移行支援（就職に向けた支援）
- ② 就労定着支援（企業との連携）
- ③ 就労継続支援Ⅱ型（伊勢おやき等）
- ④ 中・高校生向け就労支援（伊勢おやき）



#### 想いの旅路

作詞 松井真理子  
作曲 井上善日居  
歌 金憲裕・中井かおる

1 はじまりは 偶然の出会い  
小さなまちの 小さなホール  
なれあう空気の 向こうから  
それは遠く 響く声  
なんて嬉しいことだろう  
同じ想いの人がいる  
強さ やさしさ 生きる意味  
あの日 想いが重なった

2 それから 荒海へ船出  
大きな夢を コンパスにして  
想いを伝える 集まりに  
「それはいいね」と 上がる声  
なんて嬉しいことだろう  
同じ想いの人がいる  
強さ やさしさ 生きる意味  
あの日 想いが広がった

3 たくさんの 人たちと会って  
たくさんの花を 咲かせてきたよ  
想いを形に するために  
「みんなでやろう」と 立ち上がる  
なんて嬉しいことだろう  
同じ想いの 人がいる  
強さ やさしさ 生きる意味  
あの日 想いが動かし

4 気がつけば 月日が過ぎて  
終わりが来る日 気付けられる  
うしろを見れば 若い人  
「私もやれる」と 輝く目  
なんて嬉しいことだろう  
強い 託せる 人がいる  
強さ やさしさ 生きる意味  
未来へ 想いがつながった

## 特定非営利活動法人市民社会研究所

（〒510-0086 三重県四日市市諏訪栄町3-4）

本部 ssk21ww@yahoo.co.jp

ほくサポ

wakamono@hokusapo.com

伊勢おやき本舗 iseoyaki.2022@gmail.com

スプラウト

sprout@m3.cty-net.ne.jp